

令和5年度指定管理業務に関する事業報告書（デイ）

施設名 京都市東高瀬川デイサービスセンター

1 施設の管理運営

要介護者・要支援者の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じて、自立した日常生活を営むことが出来る様、入浴、排泄、食事の介護や支援その他、生活全般にわたる援助及び機能回復訓練を行う。もって、利用者の心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図る。
営業日：月曜日～土曜日（年末年始を除く） 受付時間 8：30～17：00
利用定員35名 通常の事業実施地域：伏見区（外環状線以北、勧進橋以南程度）

2 事業実施内容

（1）指定管理業務（本来業務：老人デイサービスセンター）
健康状態の確認を行う。入浴、排泄、食事、移動、送迎等その利用者のニーズに応じた必要な介助を行う。身体機能低下を防止するための援助を行う。
レクリエーション、個別機能訓練、サークル活動など日常生活における介護相談、助言を必要に応じて行う。
介護計画の作成を行う。（計画にそったサービス提供、管理、評価）

（2）指定管理業務（企画提案業務：指定管理者が提案し、施設内で実施している業務。例：配食サービス）
企画提案業務
・配食サービス事業
・訪問型サービス（訪問介護、定期巡回随時対応型訪問介護看護）
・障害福祉サービス（訪問系）（居宅介護、重度訪問介護、行動援護、同行援護）（移動支援事業も含む）

自主事業の実施状況は、以下の通り。

3 サービス提供状況

管理者1名、生活相談員3名（介護職兼務含む）、介護職員8名、看護師2名、機能訓練指導員1名、運転手1名

再委託の実施状況（協定書に明記のない再委託業務）は、以下の通り。（例：給食調理業務）

4 市内中小企業への発注に対する考え方

法人内の就労支援事業所に館内清掃等依頼している。ワックス清掃は外注している。

5 施設の利用状況（本来業務に係る施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1)利用者延べ人数

①令和5年度実績値 人

②令和6年度目標値 人

(2)利用者実人数

①令和5年度実績値 人

②令和6年度目標値 人

(3) 収支実績

ア 本来業務（老人デイサービスセンター）

介護保険収入	53,741,536
利用料収入	11,386,220
委託料収入	4,592,735
補助金収入	1,983,755
寄付金収入	0
雑収入	0
その他	124,200
収入計	71,828,446

令和5年度収入状況及び支出の状況（単位：円）

人件費	44,010,127
事業費	13,161,702
委託費	2,608,065
小額修繕費	747,087
その他	3,638,471
支出計	64,165,452

イ 企画提案業務1（配食サービス事業）

介護保険収入	0
利用料収入	11,869,103
委託料収入	1,999,320
補助金収入	344,996
雑収入	0
その他	310,013
収入計	14,523,432

令和5年度収入状況及び支出の状況（単位：円）

人件費	3,138,617
事業費	9,627,066
委託費	226,631
その他	792,604
支出計	13,784,918

ウ 企画提案業務2（訪問型サービス：介護）

介護保険収入	57,191,910
利用料収入	6,722,929
委託料収入	0
補助金収入	888,920
雑収入	66,500
その他	
収入計	64,870,259

令和5年度収入状況及び支出の状況（単位：円）

人件費	66,634,698
事業費	716,710
委託費	325,063
その他	3,385,899
支出計	71,062,370

エ 企画提案業務3（障害福祉サービス（訪問系））

介護保険収入	38,953,532
利用料収入	76,623
委託料収入	0
補助金収入	659,379
雑収入	0
その他	7,050
収入計	39,696,584

令和5年度収入状況及び支出の状況（単位：円）

人件費	18,165,542
事業費	93,580
委託費	0
その他	615,615
支出計	18,874,737

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

利用時の連絡ノートの活用や、利用者自身の声を日常的に受け止めています。

(2) 利用者満足度把握の結果

年間を通じて、常に新しい利用者をお迎えして、一定の利用実績をあげています。

(3) 意見等への主な対応状況

利用者、介護者の要望を尊重して、個別のサービス提供を行っています。

7 その他特記事項

(1)

利用前希望者に「お試し利用」を実施。希望者に理美容カットの業者に来所、ヘアカットの実施。料金は別途徴収。

(2)

年間通じてオンライン研修を含む職員研修、事例検討、外部研修参加等 資質向上への取り組みを検討した。また、資格取得のための勤務上の配慮、参加費の負担等もある。

8 評価（指定管理者自己評価）

年度始めは利用者稼働は良かったが、後半は登録者の入院入所が重なったこともあり稼働は低下した。お試しや新規利用の依頼があった際には一切断らず、難しいケースについては一度お試し利用を提案するなど全て前向きに受け入れてきた。
運営においては、収支、サービス、コンプライアンス管理を徹底し、安定した事業運営、室の高いサービス提供、適切な指定管理を行っている。その他、地域福祉の増進への取り組み等計画的な事業展開の実施を目指す。厨房の協力を頂きながら、普段買い物に行けない方への支援として、お惣菜販売を開始し現在も月に全曜日一度は最低でも行うようにし、継続している。今後も多様なニーズへの対応を行い、幅広い利用者を受け入れられるデイサービスセンターのあり方を追求する。